授業科目名・形態	医療と福祉のマネジメント　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	石岡和志　石川セツ子　大館市職員	実務経験の有無	有	開講期	1～2年後期
科目ナンバリング	C1-1007(c) R				

【授業の主題】

少子高齢化や価値観の多様化による社会構造（家族構成、働き方など）の変化に対し、国や地公共団体は国民（市民）の福祉の維持向上のため様々な政策・施策を展開しています。

本授業では、大館市役所の職員が講師となり、福祉行政を中心に、市役所の役割・議会との関係なども含め、仕事の内容、直面している課題とその取り組みのほか、市の政策決定システムなど生の地方行政を学びながら、大学のあるこの地域への理解を促し、地域で活躍する人材を育成することを目的としています。

【到達目標】

福祉行政の実施体制やその実際を学び、医療福祉のマネジメントについて、医療・福祉の現場、地域などをそれぞれの側面から看護・福祉の専門職として求められる基本的な視点を身につける。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション～医療・福祉職がかかわるマネジメント（石岡）
第 2 回　自治体の危機管理体制（大館市　危機管理課）
第 3 回　市議会の役割（大館市　議会事務局）
第 4 回　市役所の役割と地域課題解決のための公共政策とは（大館市　企画調整課）
第 5 回　障害福祉計画の策定目的と実施内容（大館市　福祉課）
第 6 回　高齢者に対する支援（介護保険、高齢者福祉、在宅医療と介護連携）（大館市　長寿課・健康課）
第 7 回　児童虐待防止への取り組みについて（大館市　子ども課）
第 8 回　地方自治体の予算の仕組みと財政（大館市　財政課）
第 9 回　特別講義（ふるさと大館のまちづくりについて　大館市長）
第 10 回　地域保健対策の取り組み（大館市　健康課）
第 11 回　生活保護行政と動向（大館市　福祉課）
第 12 回　病院、医療組織とは（大館市立総合病院）
第 13 回　退院時における、地域連携の取り組みについて（大館市立総合病院）
第 14 回　在宅看護と地域連携について～退院後の療養生活を支援する訪問看護～（石川）
第 15 回　在宅生活を支えるケア・マネジメント（石岡）

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【事前・事後学習】

毎回、各制度に関する 2 時間の予習及び講義を振り返りながら 2 時間の復習を行うこと。

【主な関連する科目】

社会保障論、地方自治と財政、地域福祉論

【教科書等】

特に指定はしない。適宜資料を配布する。

【参考文献】

必要に応じて講義中に紹介する。

【成績評価方法】

レポート 60%、定期試験 40%で評価する。60%以上の得点で合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設で介護職員として勤務してきた。介護の現場で医療職と連携した経験を活かし、チームマネジメントの大切さを伝えたい。

【学生へのメッセージ】

地方の福祉行財政の動向、福祉計画への取り組みに関心を持ちながら主体的に受講すること。また、市町村が地域住民に対して提供している医療、保健、福祉サービスの仕組みを理解できるようにすること。